

臨界前核実験に抗議し、今後いっさいの核実験中止を求める決議

清瀬市は、市民総意により 1982 年に『清瀬市非核平和都市宣言』を行い、世界の恒久平和と永遠の繁栄を願い、核兵器の廃絶と軍縮を繰り返し訴えてきました。

5 月 24 日の米国エネルギー省の発表により、貴国が新たに 2 月 13 日に 29 回目の臨界前核実験を実施したことが明らかになりました。

このことは、国際社会における平和への願いを無視するとともに、核全廃への取り組みを踏みにじるものであり、強い憤りを禁じえません。

私たちは、どのような形態のものであれ、核兵器の維持・強化を目的とした実験は、人類の生存と地球環境に重大な影響を与えるものであり、絶対に容認できません。

ここに貴国に対して厳重に抗議をするとともに、今後、いっさいの核実験の中止を重ねて強く要請します。

令和元年 6 月 1 0 日

清 瀬 市 議 会